



クリストフ・ランスマイヤー 自作を語る

日時: 10月27日(火)17時~18時30分

会場: 慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール

司会: ヴァルター・フォーグル(商学部教授)

作家自身による『ラスト・ワールド』、『氷と闇の恐怖』
(1984年)、『ある臆病な男の地図帳』(2012年)の
朗読と作品をめぐる対話 (通訳付、朗読作品は翻訳を配布)

クリストフ・ランスマイヤー Christoph Ransmayr

1954年オーストリア、ヴェルス生まれ。ウィーン大学で哲学と民族学を専攻。1988年の長編『ラスト・ワールド』の成功により、世界的なベストセラー作家となる。今日ランスマイヤーの作品は30以上の言語に翻訳され、ドイツ語圏における「現代の古典」として揺るぎない評価を得ている。

